



ありがとう



元気な1年生になってね
 ～皆瀬保育園のちびっこたち～



皆瀬（かいぜ）保育園のちびっ
 子には毎年2月の誕生会に来ても
 らっています。年長さんですので
 この春はよいよ花の小学生。
 元気な踊りや利用者さん一人ひ
 とりに首飾りのプレゼント。
 キラメキに来たことがちびっ
 子たちにも保育園の一つの思い出に
 してくれたら嬉しいな。



毎年好評の冬の定番、お鍋が今年
 も登場。皆さんの胃袋も心も温めて
 くれました。カツオだしの旨味が何
 とも言えないアツアツのお鍋には色
 々な具材がハーモニーを奏していま
 す。×ご飯に卵を入れておじやに。
 のり、ネギの風味良くこれまた「う
 まかあ〜」。職員も一緒に鍋を囲ん
 で頂きました。



「また長崎で！」

誰もがそう思ったろう。7年前の大村のグループホ
 ームで7名の尊い命を奪った火災が一気に頭を巡る。
 今回の長崎市のグループホームの火災は沢山の課題
 を私たちに突き付けてきた。避難を困難にした立地条
 件に建物構造。スプリンクラー設置義務にわずかなか
 らない面積。火災原因と責任はリコールされた加湿器
 メーカーに飛び火する。
 私たちは大切な家族を失われた遺族の気持ちを思う
 一方、施設職員の思いも同時に考える、やるせなく。
 この教訓は当然当施設でも無駄にできない。検証し、
 確固たる安全を「当たり前」のサービスとして提供で
 きる施設にならなければと強く思った。

今、介護施設で
安全
 が問われている。

- 【さざ・煌きの里の
 主な消防用設備】
- 消火用散水栓11基
 - スプリンクラー
 - 消火器15本
 - 放送設備
 - 連結送水管
 - 自動火災報知設備
 - 非常警報器具
 - 誘導灯・標識
- 防火管理者2名**



みんなで
 食べたら
 おいしかね!

みんなで
お鍋

春を見つけに。

2月とは思えないうらかな
 な春日和。今日は地元、神田
 町内会ウォーキング大会。
 キラメキからも職員が家族連れで
 沢山参加させて頂き、心地良い汗を
 流しました。
 3K、6Kコースに分かれ、いざ
 出発。途中で休憩所も設けられイチ
 ゴなど食べながら小休憩。血圧計も
 用意されるなど、参加者に優しい心
 使いが疲れ気味の足を軽くさせます。
 キラメキ付近もコースになってい
 ましたが、意外と知らなかった新発



暖かい日差しと自然が嬉しいコース
 見や道のつながりにプチ感動！
 ゴール後は美味しいカレー、うどん、
 おでんを頂いたり、ビンゴゲームで
 楽しみました。
 企画・運営とご苦労頂いた町内会
 の皆様、本当に有難うございました。

白十字会職員が一堂に会して学術研
 究大会（インスティテュート）がアルカ
 スSASEBOで開催されました。
 今年のテーマ「つなぐ～医療と介護、
 多職種・多施設。急性期から在宅まで～」
 の通り、グループ内の縦軸、横軸の連携
 を取り合いながらスムーズな在宅への流
 れを構築していこうというものです。
 80題を超える一般演題や高知県の近
 森病院、看護部長さんによるチーム医療
 に関する特別講演もありとても勉強にな
 りました。また認知症をテーマにした市
 民公開講座も併せて開催されました。
 キラメキからも5演題の発表を行いま
 した。大変有意義な大会の思いをこの日
 だけに終わらせず、これから活かして
 いきたいと思ひます。

メインテーマ
 「つなぐ～医療と介護、多職種・多施設、急性期から在宅まで～」

第19回白十字会Institute

キラメキからも5演題
 の発表を行った

アルカスSASEBO大ホール

次世代エネルギー太陽光発電
メガソーラー計画
 佐々町が誘致。今夏完成予定！

虹の里さん
 完成予想図

キラメキとお隣の虹の里さん横の広大な
 敷地は佐々町が企業を誘致するために20
 年前に造成した土地。そこに佐々町が誘致
 しメガソーラー発電所が建設予定されてい
 ます。4月着工、8月に完成の予定です。
 東日本大震災以降、自然エネルギーが注
 目を集める中、原子力に頼らないエネルギ
 ー作り推進のため、全国でこのような遊休
 地活用が進んでいます。
 完成すれば約600世帯の家庭の1年間分
 の消費電力量相当の規模になるそうです。
 遠くに目をやれば風力が、近くには太陽
 光と環境に優しい場所にキラメキはあるん
 ですなえ。

消費電力量を見込む
 600世帯一年分の



甘いイチゴに舌鼓

ワクワク感が伝わる出発前の記念写真

県下一周駅伝大会

2/16・17・18

タスキを繋ぐ・託す

今年も長崎県下を3日間かけてタ
 スキを繋ぐ「県下一周駅伝大会」が
 開催されキラメキからも堤事務長（
 佐世保）、女性区間に坂本ケアスタ
 ッフ（平戸）が出場。懸命にチーム
 のためにタスキを繋いだ。
 堤は25回目の出場、坂本は初出場
 ながら最も応援が多い最終区間の長
 崎市内を駆け抜けた。チーム事情で
 急ぎょ声がかかり、それに応える料
 には脱帽だ。
 堤はほとんどアウエーの雲仙市の
 区間を任されたが、今年はなんと
 キラメキから遠路、応援団が
 駆けつけてくれた。のぼりや横
 断幕、手作りボードと何とも嬉
 しい感動のサプライズに背中を
 押されたのは言うまでもない。



心強い応援団



ゴールテープを切る坂本

区間2位の好走はチームを
 日間トップに押し上げた



さざ・煌きの里 虹の里さん